

# 獲物の仕留め (The Stalk)

## 登場人物

**コルヌコフ**—アナトリ・コルヌコフ将軍、ソコル空軍基地の司令官(サハリン)。1998年1月22日にボリス・エリツィンによってロシアの新空軍司令官に任命された。彼は2002年の1月に引退するまでこの職に従事した。

**ゲラシメンコ**—空軍中佐、第41戦闘機連隊司令官代理

**ノボセレッキ**—空軍中佐、スミルニク空軍基地、航空師団参謀部長代理

**チトーブニン**—航空師団戦闘管制センター飛行発着係

**マイストレンコ**—航空師団戦闘管制センター作戦本部軍務士官

**カメンスキ**—将軍、司令官、極東軍管区空軍

時間は調整された一般的な時間で表されています(UTC、以前はグリニッチ標準時もしくは GMT)。サハリン上空では、1983年の9月1日の早朝です。

次のことは、「007の救出」の152ページから155ページ(弱冠の訂正と付加を含む)から引用されています。ロシア語の写しは1993年のICAO(国際民間航空機関)報告からのものです。解説はバート・シユロスバーグのものであります。

**コルヌコフ将軍(軍管区司令部—カメンスキ将軍に):(5時47分)**

それが中立水域を越えてもただ撃墜するのだな? 命令は中立水域を越えてそれを撃墜するのだな? わかった。

**コルヌコフ将軍:(6時13分)**

チャイカ(極東軍管区空軍のコールサイン)

**チトーブニン**

かしこまりました。これ(スホーイ15TMフラゴン迎撃機のオシポビッチ少佐)はそれをレーダー画面で見えています。彼は画面で見えています。照準を定めました。これは照準を定めました。照準を定めました。

**コルヌコフ**

答えが無い。了解。発射する準備をしろ。標的は国境まで45から50キロにある。



**コルヌコフ**

明らかにロシア軍はKAL007便が公海水域を越えていた間に発射する準備をしていた。それは前にカムチャッカの領空を越えていた。

**コルヌコフ**

指令基地の責任にある士官、報告を頼む。

**チトーブニン**

はい。

**コルヌコフ**

コルヌコフ。カメンスキーを繋がるようにしてくれ。コルヌコフ、コルヌコフ将軍

カメンスキー将軍を繋がるようにしてくれ。

**カメンスキー将軍**

こちらカメンスキー。

**コルヌコフ:(6時14分)**

同志将軍、コルヌコフだ。おはよう。状況を報告する。標的 60-65(KAL007 便「侵入者」)はテルペニエ湾を越え(テルペニエ湾はサハリン島の東海岸にある。KAL007 便は首尾よくペテロパブロフスクを越えて入った後、カムチャッカを横断してオホーツク海を横切り、サハリン空域に入ろうとしていた。)、国境から 240、30 キロまで追跡し、ソコルからの戦闘機が 6 キロメートルあたりにいる。照準は定められた。命令は兵器に送られた。標的が応答しない。確認しようとしているのだが、スホーイはいまだ暗いから視覚的にそれを確認できない、しかしなおも照準は定めている。

**カメンスキー**

我々は探し出さなければならない。たぶん、それは何か民間の航空機か、もしくは神が何か知っているだろう。

**コルヌコフ**

何の民間のだ？それはカムチャッカの上を飛んでいるんだぞ！それは識別無しに海から来た。私はもしそれが国境を越えたら攻撃するように命令を下す。

**カメンスキー**

わかった。私が命令を下すか？

そして他の場所において—サハリン中央部のスミルニク空軍基地において

**ノボセレツキ中佐:(6時12分)**

スホーイはそれをレーダーで見ているかどうか？

**チトーブニン:(6時13分)**

これは画面でそれを見えています。見えています。照準を定めました。

**ノボセレツキ**

スホーイは照準を定めた。

**チトーブニン**

照準を定めました。はい、了解。

**チトーブニン:(6時14分)**

はい。

**マイストレンコ中佐**

マイストレンコだ！

**チトーブニン**

同志マイストレンコ中佐、これはチトーブニンです。

**マイストレンコ:(6時15分)**

わかった

**チトーブニン**

司令官はもし境界線が侵されたら標的を撃墜するように命令を下しました。

**マイストレンコ**

たぶん、旅客機だろう。それを確認するために、全ての必要な手段を取れ。

**チトーブニン**

識別手段は取っていますが、パイロットが見えません。暗いんです。今もなお暗いんです。

**マイストレンコ**

わかった。任務は正しい。もし光が無かったら、それは民間機ではないだろう。

マイストレンコは正しくなかったが、オシポビッチはその時、発着係に彼がKAL 007便の光を見た事を報告しなかった。彼はこの事を1996年、9月9日のニューヨークタイムズのインタビューで認めなければならなかった。

「私は150メートルから200メートル離れた、同じ高度で丁度彼の横にいました。」彼は今週末のリポーターとの会話の中で思い出した。ひらめく光と窓の形状から、彼は航空機が民間のものだと認めることが出来た。彼は言った。「私は二つの窓の列を見て、これがボーイングのだとわかった。」彼は言う「私はこれが民間の航空機だと分かった。しかし、私にとってこの事は何の意味も成さなかった。民間のタイプの航空機を軍用に変えるのは簡単だ。」



1983 年当時のオシポビッチ

チトーブニン

任務を確認しましたか？

マイストレンコ

えっ！

チトーブニン

任務を確認しましたか？

マイストレンコ

うむ。

チトーブニン

了解

そしてなお、他の場所において

コルヌコフ:(6 時 21 分)

ゲラシメンコ!

ゲラシメンコ中佐

ゲラシメンコです。

コルヌコフ



1996 年当時のオシポビッチ

ゲラシメンコ、指令基地の馬鹿騒ぎはやめてくれ。そのその騒音は何だ？私は戦闘任務を繰り返す。ミサイルを標的 60-65 に向けて発射し、標的 60-65 を撃墜せよ。

**ゲラシメンコ**

了解

**コルヌコフ**

従って、ここにタラソフを来させなさい。スミルニクよりのミグ 23 をコントロールしなさい。コールサイン 163、コールサイン 163、丁度、ミグが標的の後ろにいる。標的を撃墜せよ！

**ゲラシメンコ**

任務を受け取りました。標的 60-65 をミサイルで撃墜します。スミルニクからの戦闘機のコントロールを受け取ります。

**コルヌコフ**

任務を実行せよ、それを撃墜せよ！

**ゲラシメンコ**

…将軍同志…攻撃位置に行きました。

**コルヌコフ:(6:24)**

おー(不快さを持って)、攻撃位置に来させるのにどのぐらいかかるんだ、そいつはもう中立水域に逃げているぞ。アフターバーナーを作動させよ。ミグ 23 を連れて行け、、、おまえが時間を浪費している間に、それがそのまま飛び去ってしまうぞ。

**ゲラシメンコ**

ゲラシメンコ

ここです

**コルヌコフ**

それで 23 は後ろに行っている。23 のレーダーは作動している。攻撃の後、直ぐに右に 23 を行かせよ。23 は攻撃したか？

**ゲラシメンコ**

まだです、全く。

**コルヌコフ**

なぜだ？

**ゲラシメンコ**

23 は近づいています。攻撃に向かっています。163 が入ってきています、両方とも見えます。

## コルヌコフ

わかった。了解、そうか、破壊するためにオシポビッチの後ろに 163 を連れて行け。